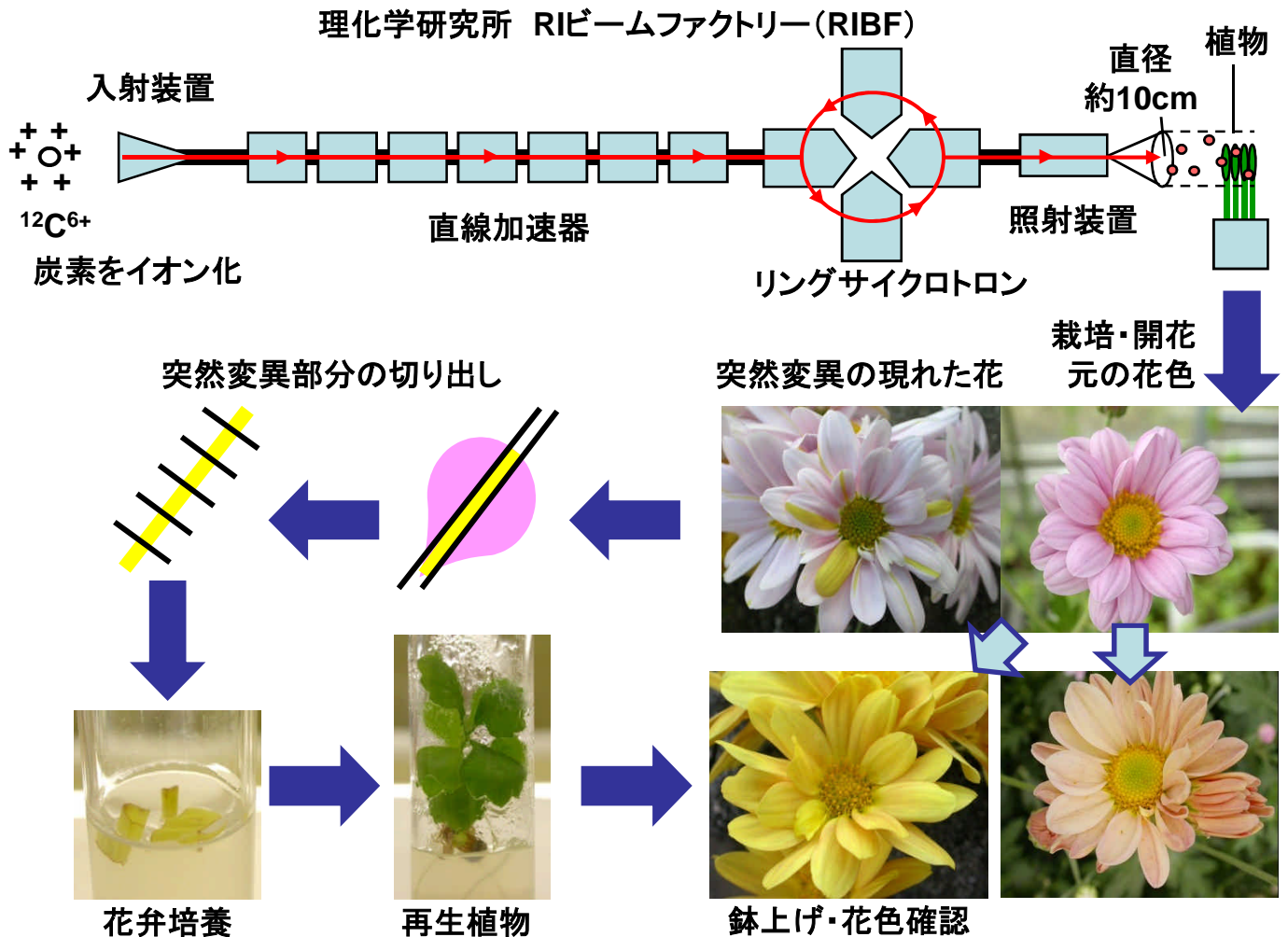


# イオンビームを利用したキクの新品種作出

## 【背景・目的】

県内の花き産地では他産地と差別化が求められています。そこで、イオンビームにより誘発した花卉の微小な変異部分を培養により植物体を再生する技術を確認し、花色変異を主とした兵庫県及び地域オリジナル品種を作出します。



- 加速されたイオンから放出されるエネルギーが突然変異を引き起こす。
- イオンビームはガンマ線よりも高エネルギーであるため、突然変異を起こしやすい。
- 突然変異は照射した株の一部に現れる。
- 得られた突然変異はその部分を組織培養して、全体が変異した株を作る。



## 【技術の活用】

栽培特性や草型を変えないで、花色のバリエーションを増やすことで、販売力の強化を目指します。現地での評価、栽培試験、特性試験を経て品種登録を行い、普及を目指します。